

## 非採用モデルも+MESHがあれば メッシュネットワークに参加できる!

セットにはハンドル取付用のバンドに加えて、車体やヘルメットなどに貼り付けられるマウントを同梱。アンテナは最適な通信環境が得られるように、回転&可倒式となっている



[ 装着位置の目安 ]



+MESHのアンテナは他の30Kが見通せるハンドル周りなどに取り付けるのが最適。ポケットに入れて使うことは推奨されていない



## SENA +MESH

Bluetoothユーザーインターコムがセナ・メッシュに参加できるようになるアダプター。コンパクトな本体は、ハンドル周りやヘルメットなど、さまざまな場所に取り付けられる。操作もボタンひとつとシンプルで使いやすい

価格：未定  
発売時期：秋  
メインユニット：45mm  
187mm×26mm  
重量：60g  
MESH インターコム：  
通信距離 800m  
連続通話時間：  
最長 13時間  
バッテリー充電時間：  
約 2時間

## Bluetoothをメッシュ化するアダプター

# +MESH 登場!

セナ・インターコムの最高峰モデル「30K」が実現した、「セナ・メッシュ」というグループ通話。これまで、30Kのユーザーだけがシンプルな使い勝手と確実につながるメッシュの恩恵に与ることができたが、新デバイス「+MESH」を使えば、Bluetoothユーザーインターコムがセナ・メッシュに参加できるようになる!

文/八百山ゆーすけ 問:セナBluetoothユーザーインターコム https://senablueetooth.jp/

## [ そもそもメッシュって何? ]

### POINT 3

### セナの中で採用されているのは30K

現在、セナ・メッシュを搭載しているのは「30K」のみ。Bluetoothユーザーインターコムは、セナ・メッシュに参加している30Kに接続して、中継してもらってグループに接続することができない。30KとBluetoothユーザーインターコムとの接続はあくまでもBluetoothを利用する

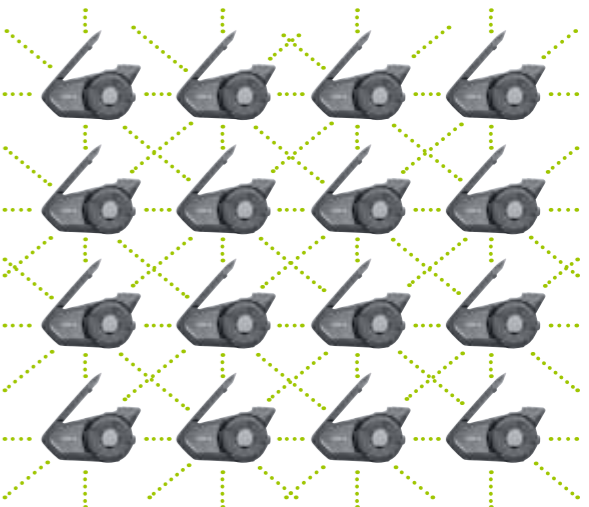


**採用**  
**30K**  
セナ・メッシュを搭載したフラッグシップモデル。Bluetoothユーザーインターコムも装着しているため、30K以外のインターコムとも接続できる

### POINT 1

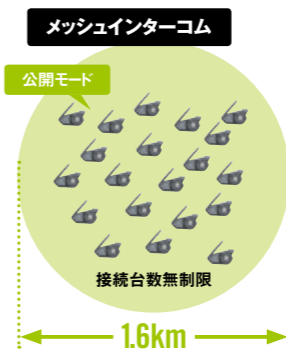
### 網の目状につながる

「メッシュ」=網という文字通り、インターコム同士を網の目状に接続することで、複数の通信経路が作られる。鎖のように単線につながるBluetoothユーザーインターコムに比べて通信が安定するばかりでなく、グループの誰かが通信圏外になっても、他のグループ仲間は通話を続けられる

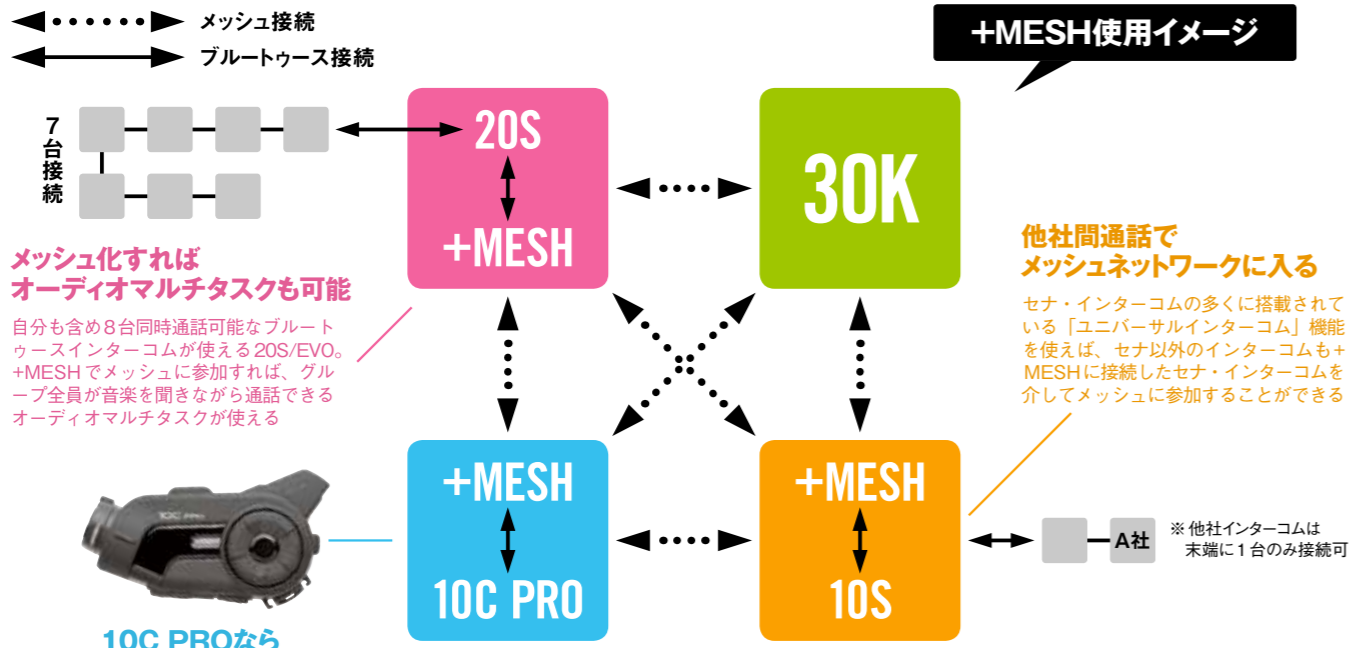


### POINT 2

### 一瞬で接続できる



セナ・メッシュはペアリング操作が不要で、モードを起動するだけで周囲のメッシュに参加できる。参加人数無制限の公開モードと仲間内で会話するプライベートモードがある



**10C PROならメッシュグループの会話も録音できる**  
カメラ一体型インターコム「10C PRO」なら、撮影中の動画にインターコムの会話も録音できる。この10C PROが+MESH経由でメッシュに参加すれば、セナ・メッシュの仲間同士の会話を、映像と一緒に残すことが可能だ

そんな従来のインターコムユーザーにオススメなのが、今夏セナから発売となる「+MESH」だ。これは、Bluetoothユーザーインターコムとセナ・メッシュを中継するアダプターで、ボタン一押しでBluetoothユーザーインターコムやセナ・メッシュと接続。これによって、自分のハンドル周りを取り付けておけば、30Kと同じようにセナ・メッシュに参加できるようになる。上の図のように工夫次第でユニバーサルインターコムやオーディオマルチタスクが使えるたり、セナ・メッシュの会話を録音するといった使い方が可能。そのため、Bluetoothユーザーインターコムのユーザーは、これひとつ持っておけばいつでもセナ・メッシュに参加できるだけでなく、30Kユーザーも+MESHをひとつ用意しておくことで、Bluetoothユーザーインターコムの仲間を、セナ・メッシュに引き込むことができる。

ひとつ持っておくだけでメッシュの網が広がる  
インターコムを使う大きな目的のひとつが、グループでツーリングする時に、走りながら全員が会話すること。ただし、一般的なBluetoothユーザーインターコムなら、メンバーのインターコムを順番にペアリングして接続する、という準備が必要だ。ただし、この「順番」がクセモノで、休日の朝にペアリングで、ヘルメットをかぶった頭を寄せ合ってペアリングに四苦八苦する姿がよく見られる。そんなBluetoothユーザーインターコムのグループ通話にあるハードルを解消したのが「セナ・メッシュ・インターコム」だ。  
セナ・メッシュは、従来のBluetoothユーザーインターコムのように複数のインターコムを順番につながるのではなく、網の目状のように接続するため「接続順」という概念がない。Bluetoothユーザーインターコムのようなペアリングの操作も不要で、ボタン一押しですぐにグループ通話に参加できる。  
現在、セナ・メッシュに対応したインターコムは「30K」のみ。もちろん30Kに接続する形でBluetoothユーザーインターコムもメッシュに参加できるが、誰か30Kユーザーにお願ひする必要がある。